

食クラスターの活動状況について



◇「食クラスター連携協議体」発足式開催

5月19日（水）、京王プラザホテル札幌において、道内の食関連企業、金融機関、経済団体、業界団体、支援機関、大学等 250名の参加のもと開催しました。

写真：（左から）柚原経産局長、菅原北海道信連会長、近藤道経連会長、高橋知事、丹保道総研理事長、高向道商連会頭、坂本観光振興機構会長

平成22年8月2日

食クラスター連携協議体事務局

（北海道経済連合会、北海道農業協同組合中央会、北海道経済産業局、北海道）

＜実施内容＞

(1) 食クラスター活動の推進

企業および生産者等が抱える課題の解決、高付加価値商品の開発ならびに販路拡大等を目指した取り組みの発掘を行い、コーディネーターの活用により、推進していく。

(2) 食クラスター活動を推進する事業環境の整備

食クラスター活動を推進していく上で必要な提言や要望を行っていく。

(3) 情報交流とマッチング

ホームページやメルマガを活用し、食クラスター活動への参画者間の情報交流とマッチングを推進していく。

(4) 推進体制の整備

上記食クラスター活動を推進するためにプラットフォームとなる「食クラスター連携協議体」を整備する。

1. 現状

(1) 食クラスター活動の推進

①食クラスター活動への提案

○企業および生産者や、支援機関等から91件の提案を受けた。(7月30日現在)これを大まかに区分すると以下のとおり。

- 1) 食の安全性評価・品質・鮮度・評価の確立
- 2) 北海道食品素材を活用した高付加価値食品の開発
- 3) 高機能性食品の開発
- 4) 未低利用原料を活用した新規加工食品または新規用途の開発
- 5) 食品加工機械の開発および食品処理・加工工程の改善
- 6) 鮮度保持流通技術・システムの構築
- 7) 流通および販路拡大 など

②コーディネーターの活用

○プロジェクトをコーディネートするコーディネーターを確保した。

(合計11名程度配置予定)

【予算措置】

- ・「地域企業立地促進等事業費補助金（広域的産業集積活性化支援事業）」
(経産局補助金、1,338万円) ～ 5名配置済
ノーステック：2名、十勝圏振興機構：1名、旭川生活文化産業振興協会：2名
- ・「地域新成長産業創出促進事業（食関連産業強化事業）」
(経産局委託費；1,550万円) ～ 6名程度配置予定（ノーステック；非常勤）

(2) 食クラスター活動を推進する事業環境の整備

- 食クラスター活動の根幹である農水産業の基盤強化に向け、農林水産省「食に関する将来ビジョン検討本部」（本部長：山田正彦農林水産大臣）において、道経連近藤会長より意見を提出（5/31、7/1）。
- 「食品産業の将来方向(仮称)に係る意見交換会」（主催：農林水産省）において、道経連近藤会長より意見を提出（7/14）。

(3) 情報交流とマッチング

- 情報発信・情報交流ツールの整備
 - ・6/22、「食クラスター連携協議体」メルマガ配信開始（Vol.14 まで配信）
 - ・7/26、「食クラスター連携協議体」ホームページ開設 URL：<http://www.fc-nw.jp/>

(4) 推進体制の整備

①「食クラスター連携協議体」の設置

- 食クラスター活動をオール北海道で推進するため、「食クラスター連携協議体」を設置し、PR活動を全道で行った結果、**395社・団体**の参画を得た。
（7月30日現在）

産	生産者等	28	農業・漁業協同組合、農業生産法人など
	企業（食関連）	120	食料品製造、食料品機械、卸・小売など
	企業（その他）	77	観光、流通、商社、マスコミなど
	団体・支援機関	84	商工会議所、商工会、業界団体など
	小計	309	
学	大学・高校	10	
官	国・市町村	55	国、市町村、独立行政法人
金	金融機関	21	
合計		395	

②サポート体制の整備

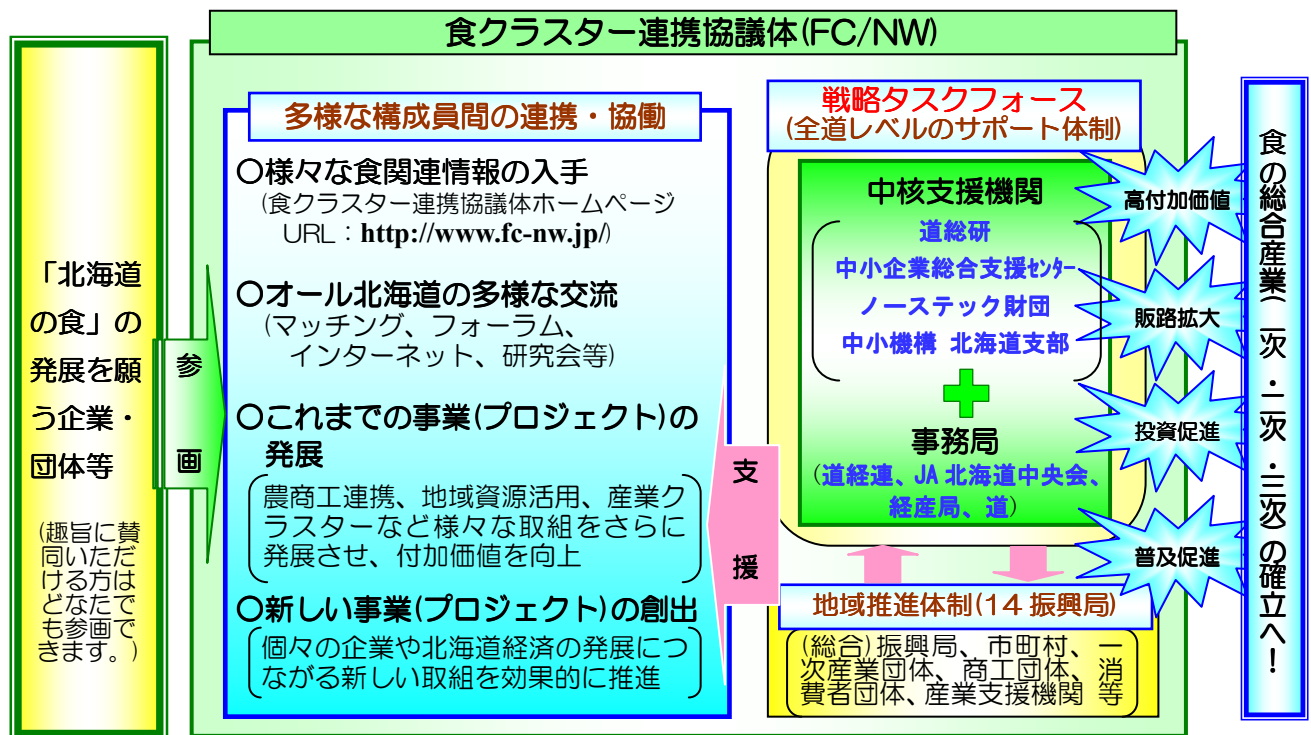
- 提案案件（プロジェクト）の課題解決方法および推進体制を検討する「戦略タスクフォース」を設置した。

（構成8機関）道経連、JA北海道中央会、経産局、北海道、北海道立総合研究機構、北海道中小企業総合支援センター、北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）、中小企業基盤整備機構 北海道支部

- これまで4回開催し、提案のあったプロジェクトを推進している。

③道内各地域における活動の展開

- 道内14の総合振興局・振興局において食クラスター活動が始動した。



2. 今後の活動

(1) 食クラスター活動の推進

- ①コーディネーターおよび「戦略タスクフォース」を活用し、企業や生産者等の課題解決、高付加価値化ならびに販路拡大を実現する。
- ②関連性の高いプロジェクトを横断的且つ総合的にコーディネートし、より大きな取り組みへ展開させていく。
- ③食クラスター連携協議体のネットワークを活用し、参画者間の繋ぎ(企業・生産者間、企業・生産者と大学・試験研究機関など)および共同プロジェクトを仕掛け、推進していく。

(2) 食クラスター活動を推進する事業環境の整備

- 懇談会(ワーキング)の実施による課題抽出と提言・要望活動への反映
 - ・食品関連企業をメンバーとする懇談会を開催し、ここから得られた課題の深堀り(例: WGを設置して検討)と各種提言・要望活動へ反映していく。
- 必要な資金の獲得
 - ・国の補助事業等への具体的な提案案件を取りまとめ、獲得に向けた活動を展開していく。

(3) 情報交流とマッチング

- 食クラスター連携協議体のホームページやメルマガを活用し、参画メンバーへの情報発信および参画メンバー間の交流の場づくりを行っていく。
- 食クラスター活動を普及・PRするフォーラム等を道内6圏域で開催予定。

3. その他

道経連では、食クラスター活動の強化を図るため、食品とライフサイエンスに関する世界有数の知識の拠点形成を目指して「北海道フード・クラスタータウン国際戦略総合特区(仮称)」を提案した。

以 上